

令和2年度 鳥取大学入学者選抜試験問題  
(推薦入試Ⅱ)

# 小論文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

## 出題の意図

### 問題 1.

題材は朝日新聞に 2018 年 10 月 11 日付で掲載された記事より抜粋、一部改変したものである。2012 年に報告されたクリスパー・キャス 9 に代表されるゲノム編集は、今日の生命科学分野において欠かすことのできない技術であり、共同獣医学科への入学を希望する学生には理解していただきたい内容であるため採用した。設問は一般常識、文章読解力、図の理解力、論理的思考力、洞察力を問うことを目的とした。文章は平易で、共同獣医学科の受験を希望する学生ならば十分に理解できるレベルである。

問 1. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力をみる。

問 2. 一般的な知識を問う。

問 3. 生物学の専門的知識を問う。

問 4. 生物学の基礎的知識を問う。

問 5. 生物学の基礎的知識を問う。

問 6. 図の理解力、文章の論理的な構成力をみる。

問 7. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力、文章の論理的な構成力をみる。

問 8. 文章の読解力、文章中の表現に対する考察力をみる。

## 出題の意図

### 問題 2.

題材は「One World, One Health」に関するマンハッタン原則からの抜粋である。本原則は、2004年にマンハッタンのロックフェラー大学に、世界中の専門家が集まり作成されたものであり、FAO、OIE、WHOといった国際機関が取り扱うほどの影響力を有している。共同獣医学科への入学を希望する学生には理解していただきたい内容であるため採用した。専門用語は多いが、文章校正や文法については共同獣医学科の受験を希望する学生ならば十分に理解できるレベルである。

問 1. 共同獣医学科を志す学生に持っていてほしい基礎的知識を問う。

問 2. 英文読解能力及び日本語での文章構成能力をみる。

問 3. 共同獣医学科を志す学生に持っていてほしい基礎的知識（保健体育の内容）を問うとともに日本語での文章構成能力をみる。

問 4. 英文読解能力、英文内容の理解度及び日本語での文章構成能力をみる。また、重要語句に関する背景や問題点に注目できているかを問う。

問 5. 英文読解能力及び英文内容の理解度をみる。